

2022年8月29日

福岡市
 西部ガス株式会社
 株式会社正興電機製作所
 豊田通商株式会社
 西日本プラント工業株式会社
 三菱化工機株式会社
 国立大学法人九州大学

市民の生活排水から水素を製造する 地産地消型水素ステーションをリニューアルします

福岡市（市長：高島宗一郎）と西部ガス株式会社（代表取締役社長 道永幸典）、株式会社正興電機製作所（代表取締役社長 添田英俊）、豊田通商株式会社（代表取締役社長 貸谷伊知郎）、西日本プラント工業株式会社（代表取締役社長 佐々木有三）、三菱化工機株式会社（代表取締役 取締役社長 田中利一）は、福岡市水素ステーション（以下「水素ステーション」という。）の機能強化を図るとともに、水素の普及に向けた活動を共同で実施することを目的として、新共同体（有限責任事業組合福岡市グリーン水素活用推進協議会、以下「協議会」という。）を設立いたしました。

福岡市は、国土交通省が実施する「下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト※1）」に採択され、平成27年から中部水処理センターにおいて生活排水（下水）を処理する過程で発生するバイオガスから水素をつくり、燃料電池自動車へ供給する世界初の水素ステーションの運営を産学官で取り組んでまいりました。

研究期間は令和3年度末に終了しましたが、カーボンニュートラルの実現に向けた水素の普及促進を目指して、設備を国から福岡市に移管し、9月26日より協議会にて地産地消型水素ステーションの運営を再開する予定です。

また、協議会は、国立大学法人九州大学（総長 石橋達朗）と、福岡市グリーン水素活用に向けた連携協定を8月19日に締結いたしました。

協議会は、水素研究のトップリーダーである九州大学の知見をいただきながら、本水素ステーションの運営実施に加え、コスト低減に向けた研究、水素需要拡大に向けた取り組みなどを通じ、水素社会の実現を推進してまいります。

※1：下水道における新技術について、民間企業、地方公共団体、大学等が連携して行う実規模レベルの実証研究

以上

(ご参考)

◆新組織体概要

組織名	有限責任事業組合福岡市グリーン水素活用推進協議会
組合員	福岡市、西部ガス(株)、(株)正興電機製作所、豊田通商(株)、西日本プラント工業(株)、三菱化工機(株)
設立日	令和4年8月8日
目的・活動	民間事業者及び行政が連携して、市民生活から排出される下水汚泥からグリーン水素を製造する水素ステーションの運営を核とした水素利活用促進、水素普及活動 ・水素ステーションの運営 ・コスト低減、水素需要拡大に向けた取組 ・水素の普及啓発 など
備考	九州大学と連携協定を締結(8月19日)

◆水素ステーションの概要

名称	福岡市水素ステーション
所在地	福岡市中央区荒津2丁目2-1(中部水処理センター内)
水素供給方式	オンサイト方式
営業日	日曜日～水曜日(木、金、土は休み)
営業時間	10時から17時(予定)

(福岡市水素ステーション外観)

